

学校だより

NO.18

2024（令和6）年9月20日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

食育授業

4日（水）、府中小学校の栄養教諭赤澤先生による食育の授業が1年生と5年生を対象に行われました。1年生は、「給食センターについて知ろう」の題材で、自分たちが食べている給食がどのように作られているのか、どんな願いを持って作っているのかを知りました。大きなしゃもじや泡立て器と背比べをしたり、直径145 cmもある鎌の大きさを広げた両手で感じ取ったり、給食ができるまでの様子をDVDで見たりしながら、給食づくりに携わる人たちの思いを知り、自分たちが大切に思われていることを感じ取っていました。5年生は、「鰹節を削って、かつおだしを味わおう」の題材で、だしの「うま味」について学習しました。削り器を使って実際に鰹節を削ったり、「湯+しょうゆ」と「かつおだし+しょうゆ」の2つの汁を飲み比べたりしながら、「だしのうま味」という日本食のよさについて考え合いました。さまざまなことを知る中で、よりよい食生活を自ら築いていける力をつけさせていきたいと思います。



伊賀焼体験

6日（金）、1・2年生がコップや皿、椀作りに挑戦しました。伊賀焼伝統産業会館の方にご指導いただき、自分の考えを作品にあらわそうと一生懸命取り組みました。2年生は昨年度に引き続きの体験で、これまでの経験をいかして楽しみながら作っていました。指導の方に、相談したり手伝ってもらったりしながら、どの子どもも満足いく作品ができあがりしました。今後、乾燥、素焼き、本焼きの過程を経て、作品が完成します。どんな作品が焼き上がるか、とても楽しみです。

